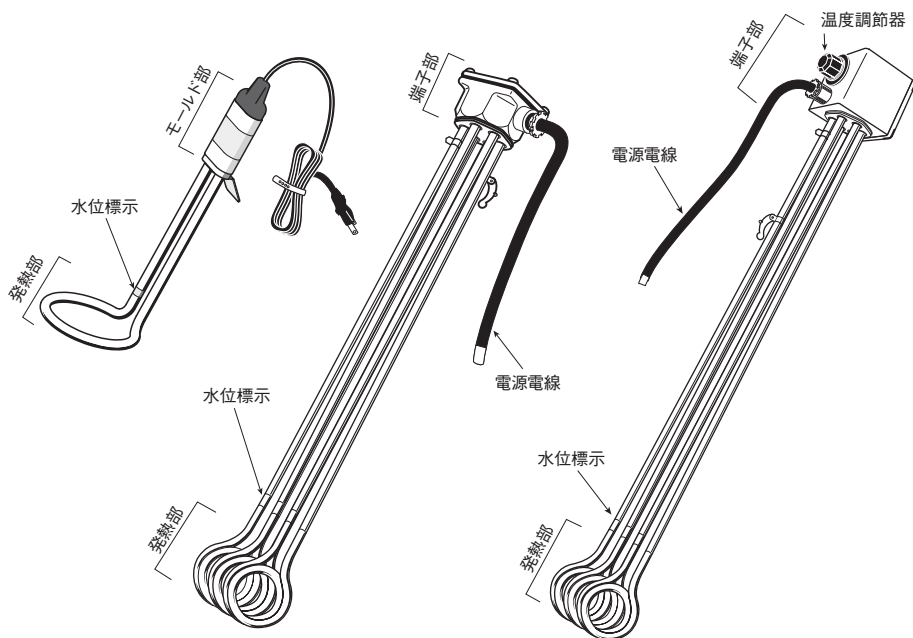


# ご使用上の注意説明書

パイプヒーターを正しく安全にお使いいただくために  
必ずお守りください

ご使用前にこのご注意説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

## 水加熱用投込み型ヒーター



光 株式会社 八光電機

# 警告

## ● 容器がひっくり返ったら電源プラグをすぐに抜く

守らないと、火災の原因になります。



## ● ヒーターは必ず水中で通電する

ヒーターの発熱部が空焼きにならないように、水が水位標示まであることを常に確認してください。水の無い状態で通電すると、火災・火傷・故障の原因になります。温度調節器は水温感知式ですので、ヒーターの空だき防止機能はありません。



## ● 使用後は電源を切る

電源の切断は、電源プラグを抜く（100V 用）か、ブレーカースイッチを切断（200V 用）してください。温度調節器の設定では電源の切断になりません。火災の原因になります。



## ● 使用場所から離れるときは電源を切る

自動給水の無い場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。無人の場所では使用しないでください。



## ● モールド部や端子部・温度調節器を水中に入れない

感電・漏電の原因になります。



## ● 不安定な容器に入れない

バケツや容器に水を入れる前に、コンセントに差し込んでないヒーターを入れ、容器が倒れないことを確認してください。倒れたりすると火災の原因になります。



## ● 風呂加熱用には使わない、風呂場で使用しない

感電の原因になります。



## ● 次のような時は使用しない、火災・感電・漏電の原因になります





- ・ ヒーターが水の中の沈殿物の中に入ってしまう所
- ・ ヒーターの表面に異物が付着している場合
- ・ ヒーターの水位標示が水面より出してしまう場合
- ・ ヒーターの端子部分および、温度調節器に水がかかる場所










## ● 「水」以外使用しない

火災・感電の原因になります。



<p>● <b>このヒーターを改造しない</b> 火災・感電の原因になります。</p>	
<p>● <b>電源電線を破損させない</b> 電源電線を加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると、火災・感電の原因になります。電源電線が傷んだらすぐに取扱店にご相談ください。</p>	
<p>● <b>樹脂容器は使用しない</b> 金属製以外の容器を使用すると、容器の溶解・火災・感電の原因になります。</p>	
<p>● <b>プラグは濡れた手で扱わない</b> 感電の原因になります。</p>	

 <b>注意</b>	
<p>● <b>温度調節器の接点寿命について</b> 長年使用で、コントローラー接点開閉が10万回を超えると、導通状態になる可能性があります。使用開始時にダイヤルを回し、室温付近で接点の動作音を確認してください。</p>	
<p>● <b>ヒーターの取り出しは、電源プラグを抜いて1分たってから行う</b> 出してすぐ可燃物の上にヒーターを置かないでください。火災の原因になります。出したばかりのヒーターの発熱部分は、素手で持たないでください。やけどの原因になります。</p>	
<p>● <b>アース線付のヒーターはアースを必ず取付ける</b> 守らないと、漏電・感電の原因になります。</p>	
<p>● <b>電源プラグは手で持って抜く</b> 電源電線に傷がつくと、火災・感電の原因になります。</p>	
<p>● <b>正しい電源電圧で使用する</b> 表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。特に国外での使用にはご注意ください。</p>	
<p>● <b>曝気槽・バブリング槽への使用禁止</b> 曝気槽・バブリング槽で使用すると故障の原因になります。</p>	

## 注意

### ● 国外での使用注意

本ヒーターは日本の電気用品安全法に基づく製品仕様です。  
国外では各国の電気用品の規則を理解の上ご使用ください。



### ● 超音波・振動のある容器には使用しない

感電・故障の原因になります。超音波洗浄機に使用する場合は、  
遮蔽板等により超音波の影響のない位置に取付けてください。



### ● モールド部のみを持って作業しない

モールド部を無理に曲げたり、モールド部を持っての攪拌作業な  
どは、火災・感電の原因になります。



## お願い

### 【温度調節について】

適切な温度で温度調節を行うことで、省エネルギーにつながります。温度調節器の無いタイプで温度調節を行う場合は、DG2N、DG2P、DG3P、サーモ 50SS、サーモ 50N、完パックサーモ 30F、をお勧めします。

### 【ヒーターのお手入れ】

ヒーターのお手入れの際は、電源プラグを抜いて常温になってから行ってください。付着物があるときは中性洗剤でよく拭き取ってから行ってください。ヒーター表面はプラスチックなどでこすって清掃してください。ブラシ、ヤスリなどの金属では行わないでください。

### 【コントローラー部分のお手入れ】

コントローラー部分はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーで拭くと、変質する原因になります。汚れがひどい時には、水もしくは中性洗剤に浸した布をよくしぼり拭いてください。

## アフターサービス

◎ご不明の点がございましたら

お買い求めの販売店または、別紙「支店・営業所・販売会社所在地一覧」をご覧の上、お近くの(株)八光電機へご相談ください。

### 株式会社八光電機

#### 営業本部

本部・東京支店 〒153-0051 東京都目黒区上目黒 1-7-9

TEL (03) 3464-8500

FAX (03) 3464-8539

大阪支店 〒553-0003 大阪市福島区福島 8-16-20

TEL (06) 6453-9101

FAX (06) 6453-5650

生産本部 本社工場 〒389-0806 長野県千曲市大字磯部 1486

ホームページ [www.hakko.co.jp](http://www.hakko.co.jp)